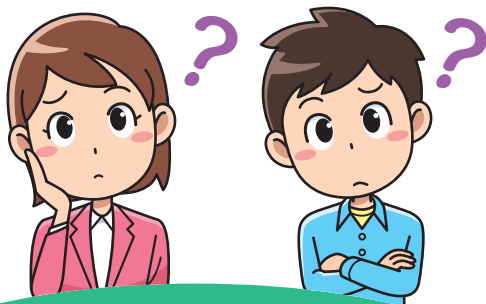


新潟水俣病



20

疑問



新潟水俣病って

どんな 病気ですか？

新潟水俣病の被害は

なぜ くり返されたのですか？

新潟水俣病問題は

まだ 終わっていません！



新潟水俣病って

どんな 病気ですか？



Q1

新潟水俣病は、いつごろわかったのですか？



A1

新潟では、1965(昭和40)年5月31日に新潟大学から新潟県庁に報告があり、6月12日に正式に発表しました。

新潟では、1965(昭和40)年5月31日に、「原因不明の有機水銀中毒患者が阿賀野川下流地域で散発している」と、新潟大学から新潟県庁に報告(新潟水俣病発生^{かくにん}の公式確認)がありました。そして、6月12日に新潟大学と新潟県庁が「阿賀野川流域^{りゅういき}に有機水銀中毒患者7人発生、うち2人死亡」と正式に発表しました。

その9年前の1956(昭和31)年5月1日に、熊本県水俣市^{くまもとけんみなまたし}で原因の分からない病気が発生していることが、新日本窒素(後にチッソ)^{あつそ}附属病院から水俣保健所に報告がありました。

この日が水俣病の発生が公式に発見された日となっています。



Q2

「新潟水俣病」という名前はなぜつけたのですか？



A2

新潟水俣病は、熊本で発見された水俣病が新潟で発生したからです。

新潟水俣病は日本で発生した第2の水俣病です。1956(昭和31)年に熊本で病気が発見された当時は、まだ原因がわからなかったので、「奇病^{きびょう}」と呼ばれたり伝染病^{でんせんびょう}ではないかとおそられたりしました。しかし、病気の名前として「奇病」と呼ぶのは、他と区別^{くべつ}が付きにくいなどの理由で、その後、最初に発生した地域の水俣市の名前をとって「水俣病」と呼ばれるようになりました。

新潟では、1965(昭和40)年6月12日に新潟大学において「阿賀野川流域に有機水銀中毒患者が発生した」と発表があり、翌日の新聞に「新潟に『水俣病』発生」と掲載され、その後、「新潟水俣病」と呼ばれるようになりました。

(注)資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

※1 今では、工場排水に混じって流された無機水銀も海や川の中にすむ微生物のはたらきによりメチル水銀になることがわかっています。



Q3

新潟水俣病の原因はなんですか？
どのようにして発生したのですか？



A3

工場から流されたメチル水銀が基^{もと}となって新潟水俣病(有機水銀中毒)が発生しました。食物連鎖^{れんさ}によりメチル水銀が川魚に取り込まれ、それを人々が食べたことによるものです。

新潟水俣病を発生させた昭和電工^{かの せ}鹿瀬工場では、1936(昭和11)年(その時は昭和合成化学工業)から酢酸^{さくさん}や酢酸ビニルなどの原料となるアセトアルデヒドを生産していました。

その時に使った水銀が、毒性の強いメチル水銀^{※1}に変わり工場排水に混じって阿賀野川に流され、それが食物連鎖^{しよくもつれん さ}を通じてプランクトン、水生昆虫、魚へと取り込まれ濃縮^{のうしゆく}されたのです。そのことを知らずに川魚を多く食べたことで新潟水俣病が発生したのです。



Q4

水俣病にはどんな症^{しょう}状^{じょう}がありますか？



A4

手足のしびれなどの様々な症状があります。
また、人によって症状の出方に違いがあります。

「手足のしびれやふるえ、うまく歩けない、言葉をうまく話せない、見える範囲^{はんい}がせまくなる、耳が聞こえにくい、頭痛^{ずつう}、味やにおいがわからない」など様々な症状があります。また、人によって症状の出方に違いがあります。

水俣病が発生した最初のころは、とても症状の重い人がいて、ひどい場合は死んでしまうこともありましたが、患者の多くは外見からは健康な人と見分けがつかません。そのため、周りの人からわかってもらえず、ニセ患者^{かんじゃ}などに見られて苦しんでいる人もいます。

新潟水俣病って どんな 病気ですか？



Q5

水俣病は治りますか？
インフルエンザのようにうつったり、遺伝したりする病気ですか？



A5

水俣病を完全に治すことのできる治療法は、見つかっていません。
また、うつったり遺伝する病気ではありません。

水俣病を完全に治すことのできる治療法は、見つかっていません。痛みを和らげる治療などが行われていますが、現在の医学では元の健康な体にはもどせないのです。

また、水俣病は毒性の強いメチル水銀に汚染された魚を食べたことによって起きた食中毒です。空気や体に触れることでうつる伝染病ではありません。

妊娠中のお母さんがメチル水銀に汚染された魚を食べて、おなかの中の赤ちゃんが水俣病になってしまうこと(胎児性水俣病患者)がありましたが、遺伝ではありません。



Q6

新潟水俣病はどんな人たちがかったのですか？



A6

新潟水俣病にかかった人たちは、ごく普通の生活をしていた人たちです。

新潟水俣病が発生した阿賀野川流域は、豊かな自然に恵まれ、昔から川漁が盛んで魚がたくさんとれました。ここに暮らす人たちにとって魚はごちそうであり、動物性タンパク源として毎日のように食べていました。

そのような普通の暮らしをしていた人たちが、工場から流れ出たメチル水銀に汚染されていた川魚を知らずに食べたことで、新潟水俣病にかかってしまったのです。

阿賀野川沿いで、同じような生活を送っている人たちや同じ魚を食べた家族の中から、多くの被害者が出ることになりました。けっして特別な人たちではありません。

(注)資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

※2 暫定的規制値:行政上の指導指針として厚生省(現厚生労働省)が定めた「魚介類の水銀に関する暫定的基準」のこと。



Q7

人間以外の動物も水俣病にかかるのですか？



A7

ペットや家畜も水俣病にかかりました。

新潟では、汚染された魚を食べたネコや犬が狂ったようになって死んだり、魚が入ったみそ汁をえさに混ぜて与えた牛や豚が狂ったようになって死んだりしたということが調べてわかっています。

ほかにもカラスや水鳥が水俣病にかかったり、干した魚を砕きニワトリに食べさせたところ全滅したこともありました。



Q8

今でも新潟水俣病は発生しているのですか？



A8

今では、新たに新潟水俣病にかかる人はいないと言えます。

昭和電工鹿瀬工場は、1965(昭和40)年1月までアセトアルデヒドを製造し、未処理の排水を流していました。新潟水俣病が発生した1965(昭和40)年当時、阿賀野川では、水銀値の高い魚がいましたが、その後はしだいに低くなり、新潟県では1978(昭和53)年4月に安全宣言を出しました。今でも、阿賀野川にすむ魚の水銀量調査をしています。国が一時的に定めた暫定的規制値※2を超える魚はみられません。

新潟でも熊本でも、新たに水俣病にかかる人はいないと言えます。しかし、水俣病の症状がありながら、差別や偏見をおそれて声を上げられない人や、自分が水俣病と気づいていない人もいます。

新潟水俣病の被害は **なぜ** くり返されたのですか？



Q9

熊本で水俣病が発見されてから、どうして9年もたった1965(昭和40)年に新潟水俣病が発生することになったのですか？



A9

新潟水俣病が発生したころは、経済成長を優先し、人の命や健康、環境を守ることが後まわしにされたことで発生したと言えます。

熊本大学の研究班は、1959(昭和34)年に、有機水銀が水俣病の原因として公表しましたが、原因の特定は1968(昭和43)年の政府統一見解を待たなければなりませんでした。

また、通商産業省※3は、1959(昭和34)年にチッソ水俣工場と同じようにアセトアルデヒドや塩化ビニルを生産している全国の工場の調査をしましたが、結果は公表されず、水俣病の発生を防ぐ効果的な措置はとられませんでした。

このころ、日本では戦後の復興が終わり、国をあげて技術革新によって新たな経済発展を目指そうとしていました。そのため、人の命や健康、環境を守ることよりも、国の経済成長や会社の利益を増やすことを優先したことで発生したと言えます。



Q10

どうして差別がおきたのですか？ どんな差別があるのですか？



A10

最初は、原因がわからなかったことがありました。その後は、裁判を起こしたり救済を受けたりしたことで「金目当て」、「二セ患者」などと差別や偏見をもたれました。

最初に水俣病が発見された水俣市では、水俣病の原因がわからず、患者の家を消毒したり、伝染病棟に入院させたりしました。その後、原因が伝染病ではないことがわかってからも、行政や報道機関がはっきり取り消さなかったため、周りの人たちに伝染病、こわい病気という考えが残ることになりました。

新潟でも、最初は「タタリ」、「ナゾの病気」などと言われました。また、多くの患者は外見からは健康な人と見分けがつきにくく、水俣病ではないかと申請をしても、認められないと「金ほしさに申請した」とか「二セ患者」と言われたり、裁判を起こすと「そこまでして金がほしいか」などと中傷されました。他にも嫌がらせの電話やはがきが届いたり、家を建てる「水俣御殿を建てた」などとねたまれることもありました。

(注) 資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

※3 通商産業省:現在の経済産業省。国の産業を活発にするための政策をつくる機関

※4 「公害健康被害の補償等に関する法律」や「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」のこと。

※5 「新潟水俣病地域福祉推進条例」のこと。



Q11

差別や偏見は今でもありますか？



A11

新潟水俣病に対する差別や偏見は、まだ続いています。

以前ほどではありませんが、今でも、法律^{※4}に基づいて認定などの申請をした人に対して、「金目当て」とか、「ニセ患者」などの誤解や偏見をもたれることがあります。熊本では、修学旅行先で「水俣の子どもと泊まりたくない」とか、部活動の試合などで「水俣病、さわるな!」と言われるなど、今でも水俣市の人たちへの差別やいじめ(偏見)が起きています。

差別や偏見をおそれて「そっとしておいてほしい」とか「寝た子を起こすな」と周りの目を気にしている人や、自分が水俣病であることを隠している人もいます。



Q12

なぜ、差別や偏見はなくなるのでしょうか？



A12

新潟水俣病が正しく理解されていなかったり、相手の立場に立って考える心が欠けていたりすることが原因ではないでしょうか。

同じ地域の中で「ニセ患者」「金目当て」など被害者への偏見や中傷が相次ぎました。「人は、集団になると横並び意識、ねたみなどから自分たちと異なる者を差別しがちになる」という、今日でもみられる考えをとりやすい傾向があります。

新潟県では条例^{※5}をつくり、新潟水俣病患者への差別や偏見がなくなるように取り組んだり、学校でも新潟水俣病のことを学習する取組を進めています。まずは、私たち自身が、新潟水俣病がなぜ起きて、どういう病気なのか、どんな苦しみがあるのかなど新潟水俣病を正しく理解し、そして周りの人たちにも伝えていくことが大切です。皆さんも、自分が差別や偏見をなくするにはどうしたらよいか、どう行動したらよいか考えてみましょう。

新潟水俣病問題は、**まだ** 終わっていません！



Q13

新潟水俣病問題は、もう解決したのでしょうか？



A13

まだ、解決したとは言えません。過去の問題ではないのです。

新潟水俣病について、損害賠償^{ばいしょう}や認定を求める裁判が今も続いています。現在、被害を申し出る機会としては、「公害健康被害の補償等に関する法律」^{ほしょう}に基づく認定申請がありますが、差別や偏見をおそれて声を上げられない人、自分の症状が水俣病と気づかない人もいると考えられています。

発生当時、患者が見つかった阿賀野川の下流域に住む人の健康調査はすぐに行われ、その後、上流の調査も行われましたが十分なものではありませんでした。今後声を上げようとする人が、当時の過ごした生活や健康状況を示すのは難しいのではないかと心配されています。

このようなことから、現在でも、すべての被害者の救済^{きうす}が実現されたとは言えません。被害者に対する差別や偏見の解消や地域の絆^{きずな}の回復をふくめ、過去の問題ではないのです。



Q14

新潟水俣病の患者さんは何人いるのですか？



A14

調査等が行われていないため正確にはわかりませんが、現在、分かっているだけで患者さんは約3,800人います。

新潟では「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて認定された人（「認定患者」）は、702人（平成26年3月末現在）います。他にも水俣病総合対策医療事業等の対象となっている人や、水俣病被害者救済特措法^{とくそ}※6の給付等の申請している人を加えると、今わかっているだけで約3,800人※7の患者がいます。

また、水俣病と認められずに亡くなった人も相当いると思われます。

(注)資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

- ※6 「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」のこと。2012(平成24)年7月31日で、給付申請の受付は終了しています。
- ※7 この人数には、亡くなった人で水俣病総合対策医療事業対象者と同様の症状があるとして、一時金の対象となった225人が含まれています。
- ※8 「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき「水俣病」と認定する判断条件のこと。過去に有機水銀を摂取したこと、いくつかの症状の組み合わせ(症状の一部しかない場合も総合的に判断することは可能)があること、これらを総合的に検討し認定される。



Q15

なぜ、国の基準では水俣病患者と認められない人がいるのですか？
また、同じ水俣病患者なのにどうして認定される人とされない人に
分かれているのですか？



A15

国では、法律によって水俣病患者の判断条件^{※8}や
補償(救済)の対象を分けているからです

国の法律で水俣病患者(「認定患者」)と認められるには、現在、国が示した判断条件を満たさなければならないのです。認定患者と認められない人は、水俣病総合対策医療事業や水俣病被害者救済特措法^{※6}の救済対象となることができませんが、これらの申請は締め切られています。

2004(平成16)年、熊本県が認定をしなかった裁判で、最高裁判所から、症状の一部しかない場合も水俣病と認める判決(熊本水俣病関西訴訟)があり、2013(平成25)年には、最高裁判所から、認定基準について複数の症状がない場合でも水俣病と認定する余地はあるという判決がありました。

これを受け2014(平成26)年3月、国(環境省)は認定について通知を出しましたが、被害者からは、救済の拡大につながらないのではないかという声があがっています。



Q16

被害を受けた人たちは、補償(救済)を求めてどんな活動をしたのですか？



A16

原因をはっきりさせ、補償(救済)することを求めて裁判を起こしました。

被害を受けた人たちは、最初に新潟水俣病が発生した当時、原因企業の昭和電工が責任を認めなかったことから裁判を起こしました。これは、日本で最初の公害裁判となり、この後、各地で公害裁判が起こされることになりました。

その後、認定の申請をする人が多くなりましたが、国が判断条件^{※8}をより具体化したことから認定されない人も多くなり、「水俣病と認めてほしい」、「国も責任を認めてほしい」、「すべての被害者の救済」などを求めて何回も裁判がくり返されました。

現在も、新潟水俣病患者たちは、公害の発生をなくしていくために新潟水俣病の経験と教訓を多くの人に伝えるとともに、被害を受けたすべての人の救済を求める活動を続けています。

新潟水俣病問題は、**まだ** 終わっていません！



Q17

新潟水俣病患者にはどのような補償(救済)がされているのですか？



A17

国の法律に基づいて、原因企業^{きぎょう}や国、自治体から補償金や医療費^{いりょうひ}などが支払^{しはら}われます。

「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて新潟県、新潟市の認定審査会^{しんさ}の意見を聞いて水俣病と認められた^{※9}人には、新潟水俣病を発生させた昭和電工から補償金や医療費などが支払われます。

ほかに、水俣病とは認められないものの、水俣病にもみられる手足や全身の感覚障害^{しやうがい}がある人を対象に、国と新潟県、新潟市から医療費などが支払われています(水俣病総合対策医療事業や水俣病被害者救済特措法^{※10}の対象となった人)。また、新潟県では、条例^{※11}により新潟水俣病患者に新潟水俣病福祉^{ふくし}手当を支払っています^{※12}。



Q18

新潟県は新潟水俣病問題を解決するために、どのような取組をしていますか？



A18

新潟水俣病の被害にあわれた方々を社会全体で支えていくため、「新潟水俣病地域福祉推進条例」をつくり取組を進めています。

【条例の主な内容】

- 阿賀野川のメチル水銀で汚染された魚をたくさん食べたことにより水俣病に見られる一定の症状が出た方を「新潟水俣病患者」としています。
- 新潟水俣病患者に新潟水俣病福祉手当を支給したり相談窓口^{まどぐち}を設置します。
- 新潟水俣病への理解を深めてもらい、その経験や教訓を将来に伝える教育・啓発活動^{けいはつ}を推進します。
- 流域市町と被害者を含む地域住民が協働し地域の再生・融和に取り組むことを促進します。

(注)資料の中で、水俣病全体についてのことは「水俣病」と、新潟水俣病についてのことは「新潟水俣病」と書いてあります。

※9 「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき「水俣病」と認定されること。

※10 「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」のこと。

※11 「新潟水俣病地域福祉推進条例」のこと。

※12 「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づいて認定された患者さんには支払われません。



Q19

なぜ、水俣病は、近代の公害の原点といわれているのですか。



A19

食物連鎖を通じて起こった病気「水俣病」は、世界で最初に、化学工場からの排水で環境を汚染し健康被害が発生したことが分かったからです。

これまでは、毒物は大量の水で薄められれば害はなくなると考えられていましたが、微量の毒物が食物連鎖を通じて濃縮され健康被害が発生したのです。また、人間の体は、子孫を残すため、毒物から脳や胎児を守ると考えられていました。しかし、人の手で作り出されたメチル水銀は、毒物から体を守るしくみが働かず、脳に害を与え、母親と胎児をつなぐ胎盤を通し胎児性水俣病まで発生させました。こうした水俣病の発生する仕組みが初めて分かったからです。



Q20

今日の社会に新潟水俣病の経験はどう生かされますか？



A20

私たちの周りには様々な環境問題があります。
社会全体で改めて水俣病の経験と教訓を考えていきましょう。

食物連鎖を通じて発生した新潟水俣病は、「人間も自然の中の生き物の一部であり、人間が自然に及ぼす影響は思わぬ形で人間に巡ってくる」ということを教えてくれました。

熊本で発生した水俣病は、その9年後に阿賀野川流域でも繰り返されてしまいました。被害を広げず繰り返さないためには、何らかの異変を察知した時点で、適切な対策を講じることの重要性を教えてくれました。

快適で便利な現代社会ですが、科学的な仕組みが分かっていない環境問題を数多く抱えています。新潟水俣病の教訓の数々は、社会の様々な利害が複雑に絡み合う状況のなかで、科学的な仕組みを採るとともに、相手の立場に立って考える心や、問題の解決に向けて勇気を持って向かうなど、心の中の問題も考えなければならないことを知らせてくれています。

現在の私たちの生活は便利で豊かになりました。その一方、身のまわりには、環境ホルモン、ダイオキシンなどの有害な物質や地球温暖化、酸性雨、砂漠化など様々な環境問題があります。また、原子力発電所の事故による放射能汚染も発生しました。

まだまだ私たちへの影響が分からないことがたくさんあります。まわりの変化を早く知り手遅れにならないように対応することを課題として考えていきましょう。



◆ 阿賀野川プロフィール

川の長さ 210km (日本で10番目)

流出量(年間) 129億 m^3 (日本で2番目)
<平成5年～14年平均>

流域面積 7,710 km^2 (日本で8番目)



日本海



▶ 阿賀野川は、新潟・福島・群馬の3県にまたがり、源流は栃木・福島県境の荒海山に発し、上流の福島では阿賀川と呼ばれています。また、いくつかの大きな支流に分かれ、有名な水源として猪苗代湖や尾瀬沼・只見川があります。

新潟県立環境と人間のふれあい館 — 新潟水俣病資料館 —

〒950-3324 新潟県新潟市北区前新田字新々囲乙364-7

TEL 025-387-1450 FAX 025-387-1451

ホームページ <http://www.fureaikan.net>